

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(四十点)

受験番号

この部分は、著作権の関係で  
掲載できません。



□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(四十点)

受験番号

この部分は、著作権の関係で  
掲載できません。



受験番号
------

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(二十点)

御室※1にいみじき児※2のありけるを、いかで誘ひ出だして遊ばんとたくらむ法師どもありて、能あるあそび法師どもなどかたらひて、風流※4の破子※4やうのもの、ねんごろ※5にいとなみ出でて、箱風情※6の物にしたため入れて、ならびの岡※7の便びんよき所に埋うずみおきて、紅葉散※3りしかけなど、思ひ寄らぬさまにして、御所※8へ参りて、児をそのかし出でにけり。

② うれしと思ひて、ここかしこ遊びめぐりて、ありつる苔こけのむしろに並なみ居いて、「いたうこそ困じにたれ。」※10 あはれ紅葉を焼かん人もがな。験※11あらん僧たち、祈りころみられよ」など言ひしろひて、埋みつる木のもとに向きて、数珠おしすり、印※13ことごとしく結び出でなどして、いらなくふるまひて、をかきのけたれど、つやつや物も見えず。※6 所の違ひたるにやとて、掘らぬ所もなく山をあされども、なかりけり。埋みけるを人の見おきて、御所へ参りたる間に盗めるなりけり。法師ども、言の葉なくて、聞きにくくいさかひ、腹立ちて帰りにけり。

あまりに興※14あらんとする事は、必ずあいなきものなり。※15

- ※1 御室：京都にある仁和寺
- ※2 いみじき児：寺に預けられ仕事をする優秀な少年
- ※3 かたらひて：仲間に引き入れて
- ※4 破子：白木の弁当箱
- ※5 ねんごろにいとなみ出で：丁寧にこしらえ上げ
- ※6 箱風情の物にしたため入れて：箱のようなものに整えて入れて
- ※7 ならびの岡：京都市右京区にある丘陵
- ※8 御所：仁和寺の中の御殿
- ※9 ありつる苔のむしろ：さきほどの苔が一面に生えている場所
- ※10 あはれ紅葉を焼かん人もがな：あはれ紅葉でたき火をしてくれる人がいたらよいのになあ
- ※11 験あらん：ご利益が表れそうな
- ※12 言ひしろひて：言い合つて
- ※13 印ことごとしく結び出で：お経を唱える際に手や指で様々な形をくむのを大げさにして
- ※14 興あらん：おもしろくしよう
- ※15 あいなき：つまらない

問1 線部①「いかで誘ひ出だして遊ばん」⑥「所の違ひたるにや」の意味として、最も適当なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

<p>①</p> <p>ア どうしても誘い出して遊ぶことはできない</p> <p>イ 何とかして誘い出して遊ぼう</p> <p>ウ なぜ誘い出して遊んではいけないのか</p> <p>エ 絶対に誘い出して遊びはしない</p>	<p>⑥</p> <p>ア 埋めた場所が違ったのであるうか</p> <p>イ 埋めている場所と違う所を掘ろう</p> <p>ウ 見違えるほどきれいな場所だ</p> <p>エ 埋めるのを忘れてしまった</p>	<p>①</p> <p>⑥</p>
---	---	-------------------

問2 線部②「うれしと思ひて」とあるが、誰が何をうれしと思っているのか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 児が紅葉の美しい場所に連れて行ってもらったこと。      イ 児が寺の仕事からやと抜け出せたこと。

ウ 法師たちが児の豪華な弁当をこっそり手に入れたこと。      エ 法師たちが児をうまく外へ連れ出せたこと。

問3 線部③「いたうこそ困じにたれ」とは、「とても疲れてしまった」という意味である。法師たちがここで疲れたふりをした意図として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 集めた紅葉でたき火をして休憩するため。      イ 児を寺へ帰して仕事に戻らせるため。

ウ もうこれ以上児と遊べないと伝えるため。      エ 法師たちの計画通りに児を驚かせるため。

問4 線部④「いらなくふるまひ」とは「大げさに振る舞つて」という意味であるが、何のためにこのような行為をしたのか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア お祈りの効果によって、意外な場所からごちそうが出てくるように思わせるため。

イ お祈りのご利益によって、遊んでたまった疲れが吹き飛んだと感じさせるため。

ウ 伝統的なお祈りをする事によって、自分たちが立派な僧だと児に認めさせるため。

エ 何度もお祈りすることによって、みんなの集中力が高まったと実感させるため。

問5 を補うのに、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 法師ども      イ 数珠      ウ 木の葉      エ 砂山

問6 線部⑤「つやつや物も見えず」とは「全く物も見えない」という意味である。

(1) 「物」とは具体的に何か。文中から十字で抜き出しなさい。

(2) なぜこのようなことになったのか。三十字以内で説明しなさい。

問7 本文の内容に合うものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 埋めた場所を児に気づかれないように、法師たちは紅葉を散らした。

イ 法師たちは木の近くに行き、数珠をすり合わせて埋めた場所を探しあてた。

ウ 埋めてある物を見つけられなかった児は、途中で土を掘るのを諦めた。

エ なかなかごちそうしてくれない法師たちに怒った児は、帰ってしまった。

問8 この文章から得られる教訓として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 自分によくないことが起こるので、人をだまそうとしてはいけない。
- イ あまり凝ったことをしすぎると逆に失敗するので、ほどほどがよい。
- ウ 自分の行動は誰かに見られている可能性があるので、慎重に行うべきだ。
- エ 人生にはうまくいかないこともあるので、冷静に対処しなければならない。